

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 4月30日更新

事務事業名		調整池等管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	九重 浩光
	施 策	18	住環境の充実			所属課	建設課	担当者名	中尾 竜也
	施策の柱	56	環境衛生の充実			所属班	維持管理班	(内線)	5253
予算科目		会計一般	款 8	項 3	目 1	事業連番 10003	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	調整池等管理業務、護岸雑草処理、調整池維持管理負担金の支払い。 調整池及び護岸管理を放置すれば、事故や災害発生の要因となるため、市で管理を行う。
【業務の流れ】	調整池管理業務：設計積算→見積徴収→契約→完了検査→支払い、維持管理負担金支払、護岸雑草委託説明会→契約→確認→支払い 調整池のフェンス等の安全確認。
【主な予算費目】	委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	雑草等による住環境悪化を懸念した苦情がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO) 調整池管理委託業務の発注を行った。水利組合等へ護岸雑草処理委託料を支払った。また、菊陽町へセミコンテクノパーク調整池維持管理負担金を支払った。 調整池管理箇所:56ヶ所、護岸雑草処理委託:9件		2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 調整池管理委託業務の発注。調整池維持管理負担金の支払い。調整池フェンスの点検。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 調整池管理箇所数	箇所	セミコンテクノパーク調整池維持管理負担金の増	
イ 護岸雑草処理面積	m		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民		→ ア 市民数	人
		イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
大雨時に水害を防ぐため、調整を行い排水する。		→ ア 調整池の機能が満たされていない数	箇所
		イ 護岸雑草の苦情件数	件
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
水害を最小限に留めるため調整池の維持管理が適正に行うことが目的である。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア 箇所		14	14	56	56	14	14	14	0
	イ m		93,900	93,900	93,900	69,960	69,960	69,960	69,960	69,960
	イ 人		61,652	62,343	62,707	62,707	62,925	63,600	64,614	65,500
② 対象指標	ア 箇所		0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 件		2	0	0	0	0	0	0	0
	イ 件									
③ 成果指標	ア 箇所		0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 件		2	0	0	0	0	0	0	0
	イ 件									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	1,129	1,325	1,300	885	1,163	1,300	1,300
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	入 費	一般財源	千円	7,191	6,613	6,826	7,068	7,495	7,370	7,370
		(A) 事業費計	千円	8,320	7,938	8,126	7,953	8,658	8,670	8,670
		(A)のうち指定経費	千円	1,770	1,900	1,926	2,167	2,550	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	6	6	5	5	5	5	0
人 件 費	延べ業務時間	時間	1,410	1,460	0	860	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	5,577	5,755	0	3,408	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	13,897	13,693	8,126	11,361	8,658	8,670	8,670

事務事業名	調整池等管理事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 随時、維持管理を行うことで、水害から市民の財産と生命を守ることができる。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 維持管理事業は、安全を維持するものである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 管理業務は適正な設計積算を行っており削減の余地はない。負担金については金額確定しているため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現在必要最低限の人件費にて業務を行っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全ての住民に公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 水害を最小限に留めるための調整池であることから、市民、財産を守るのは市の責務でもあることから、行政が管理すべきものである。

3 評価結果の総括（CHECK）

調整池の機能維持、及び護岸の管理など適切に管理ができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<